

- I. 解剖の種類を 3 つに大別し、さらに、法医学に関する解剖の種類を全て記せ。
- II. 挫創と刺創の創の性状の違いを記せ。
- III. 血液就下の原因ならびにその経時的变化について記せ。
- IV. 溺死体にみられる生活反応を列举せよ。
- V. DNA の多型性を表す指標として HZ（異型接合度）、PIC（多型情報含有値）、PD（個人識別能）、MEC（平均排除率）があるが、このうちのいずれかひとつについて簡単に説明せよ。
- VI. 死亡診断書と死体検案書の違いについて記せ。
- VII. 異状死体について説明せよ。
- VIII. 正しいものには○を、正しくないものには×をつけよ。
- （ ） 全身に及ぶ死体硬直は死後数時間内に起こることはない。
 - （ ） 接射では射出口の方が入射口より大きい。
 - （ ） 縊死とは自分の体重の全部または一部を利用しての頸部圧迫による死である。
 - （ ） 咽頭壁や喉頭蓋に発赤・主張は死後に火災に遭遇しても認められる所見である。
 - （ ） 拳闘家姿勢（ボクサー姿勢）は焼死の生活反応の一つである。
 - （ ） 腐敗は早期死体現象の一つである。
 - （ ） 死体の白骨化は地上より水中の方が早い。
 - （ ） 日本の民法では胎児の体全体が生きて母体から分娩された時に人（生産児）とみなしているが、刑法では生きた胎児の体の一部が母体外に露出した時に人とみなしている。
 - （ ） WHO の生産の定義では、生産とは完全に娩出後に、呼吸、心臓拍動、随意筋の明白な運動いずれもが認められた場合である。
 - （ ） 定型的縊頸では眼結膜に多数の溢血点が認められる。
 - （ ） 絞頸や扼頸では顔面にうっ血や皮膚溢血点が認められることはない。

*A4 二枚、試験時間は 60 分

*雑感

例年通り。記述はどれも過去問にある問題でした。ただし、来年度より、これまでの教授が退官されるため、問題が変わる可能性があります。

*追試対象者 6 名（追試日：2019 年 3 月中）

*チュートリ：レポートあり

*出席：一部あり

（血液型・DNA・個人識別の講義だけありました→この回に出席してない人追試になってる？）

*普段の勉強：特段には…って感じです。レジュメはありませんが、文字部分のスライドを覚えれば余裕なようです。ただ上にも書いた通り、来年からは変更あるかもです。